平成28年度　阪神センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生管理 活動計画書

作成日　平成28年3月10日
改定日　平成28年4月 7日
阪神センコー運輸株式会社

承認	立案
渡邊	下野

平成27年度の概要

1. 事故・災害の発生状況

①車輌事故　　月　日時点

	ヘッド台数	①年間総走行距離	事故件数	②道路上事故	度数率(②/①×百万)	達成状況
直営	99台	4,603,543	1	1	0.22	○
協力	60台	―			―	―
合計	150台	4,603,543 km	1件	1件	0.22	―

②労働災害

	常時労働者数	①総労働時間	災害件数	②休業4日以上	度数率(②/①×百万)	達成状況
直営	146 人	433,795	1		0.00	○
パート					#DIV/0!	
アルバイト	9 人	26,018 時間			0.00	○
派遣					#DIV/0!	
協力		―			―	
合計	155 人	459,813 時間	1件	0件	0.00	

③品質事故　　達成状況

重大品質事故	0件	○
品質事故	108件	X

③環境活動　　達成状況

燃　　費	6.61km/ℓ	○

④衛生活動　　達成状況

「健やか活動+10」達成者率	85%	○
長時間労働者の産業医面談率	27%	○

2. 計画の反省

（安全）
27年度に関しては国交省届け出を必要とする事故（横転）を発生させてしまい、
また高速道路上ということも有り、重大事故に至らなかったものの今年度は、
独自の強化月間をもうけ事故を風化させないよう、再発防止につとめる。
（品質）
品質事故件数に関してはほぼ横ばい状態ではあるが、
中には発生の所在が不明なものもあり、精査していく必要がある。
（環境）
燃費向上については全体的には目標未達となってしまったが、営業所単体では
唯一京都城陽で目標達成となり、今年度は営業所ごとの進捗状況を公表し
競い合いながら目標達成を目指す。
（衛生）
定期健康診断、特殊健康診断対象者は100%受診済。その後の二次検診についても
受診時期にばらつきがあるものの100%受診することが出来たが、
有所見者についてはほぼ横ばい状態。率先して健康活動を推進する必要がある。

3. リスクアセスメントの実施状況

HHKからの展開でヒヤリの傾向から分析、対策の共有までは定着しつつあるが
規定の様式での展開については着手できておらず、
統一様式での着手時期を検討し実施。

4. 安全実力度評価の概要

基準達成数224件　未達成数23件
主な改善内容
①1ヶ月の拘束時間293H未満
②1日の拘束時間16H超

平成28年度　阪神センコー運輸株式会社会社安全品質環境衛生指針及び目標

【全社安全】

グループ全体で予防安全活動を積極的に展開し、組織のシナジー効果を活かし、
より高い安全水準を達成して社会から高い信頼を得られる組織が創られている。

（1）目　標
1）車輌事故　道路上交通事故度数率　0.220
<追突事故「ゼロ」　渋滞時の追突事故撲滅>
2）労働災害　休業4日以上労災度数率　0.655
<墜落転落災害「ゼロ」　リフト走行中の挟まれ災害撲滅>
3）その他　各種点呼の完全実施、残酒反応「ゼロ」

（2）重点施策
1）グループ会社の安全管理体制強化
2）リスクアセスメントと安全実力度評価による安全水準向上
3）健康起因事故の予防
4）教育訓練の継続
5）安全技術の開発

【全社品質】

（1）目　標
1）重大品質事故件　ゼロ
（品質事故に関する件数・貨物事故立替金等は、各事業所にて目標設定し、取組む）

（2）重点施策
1）潜在する重大リスクの洗い出し及び本社各部と連携したリスク低減推進

【全社環境】

～環境先端企業を目指し「資源最少&3R」の推進～

（1）目　標
1）電力使用量の削減　H27年度比　▲1%　各営業所活動結果の集約値
2）車種別燃費の向上　H27年度比　＋3%　としての行政報告となるが、
E&S指数８以上の削減　指数8以下　企業目標として
低公害車導入取組　H28年予算数値　改正省エネ法に準じたCO2削減
3）廃棄物排出量の削減　H27年度比　▲1%　H27年度比▲1%に取組む
4）リサイクル量の向上　H27年度比　＋1%
リサイクル率の向上　リサイクル率80%

（2）重点施策
1）改正省エネ法に準じたCO2削減
2）省電力活動の推進
3）燃費向上の推進
4）廃棄物削減、リサイクル率向上
5）その他(3R、コンプライアンス)

【全社衛生】

～　さらに健康に「健康企業センコー」を目指す　～
従業員個人個人によるセルフケアを中心とした健康管理活動が展開され、組織の健康管理システムとの
融合により、心身ともに健康で仕事と生活の調和がとれた活き活きとした健康企業になっている。

（1）目　標
1）有所見率　50%以下　（対前年　2.5%削減）
2）再検査・精密検査、要治療者率　28%以下　（対前年　2.5%削減）
3）喫煙率の低減　40%以下　（対前年　5%削減）

（2）重点施策
1）各部店・グループ単位での身体活動活動活性化推進
2）高年齢社員健康管理施策のスタートとフォロー実施
3）個人別把握による禁煙活動推進支援
4）法制化に向けたストレスチェック対象拡大対応と医療職によるメンタルヘルス個人ケア実施
5）健康データ整備とその分析による施策立案、従業員健康指導の強化
6）看護職人員、連携体制整備、及び健保連携体制整備

【会社安全】

それぞれの職場が主体性を持って安全活動に取り組み『現場・現物・現実』を基
盤に不安全状態・不安全行動の根絶に向け、さらなる活動の活発化を目指し、
次世代のリーダー育成を強化する。

（1）目　標
1）車輌事故　道路上交通事故度数率　0.00
<追突事故「ゼロ」　渋滞時の追突事故撲滅>
2）労働災害　休業4日以上労災度数率　0.00
<墜落転落災害「ゼロ」　リフト走行時の挟まれ災害撲滅>
3）その他　各種点呼の完全実施、残酒反応ゼロ

（2）重点施策
1）安全管理体制強化　（職場安全推進者の育成）
2）リスクアセスメントと安全実力度評価による安全水準向上
3）健康起因事故の予防
4）教育訓練の継続

【会社品質】

『すべてのお客様に満足して頂く』ことがサービスの基本であると再認識し、物流品質を
永続的に向上させるため顧客ニーズの実現を目指した活動を確実に、迅速に行う。

（1）目　標
1）重大品質事故
2）品質事故件数

（2）重点施策　ゼロ継続
1）品質事故分析結対前年　10%削減　97件

【会社環境】

トラックが人に与える威圧感の認識を深め、交通弱者へ『思いやり』のある運転行動を
心がけ、エコ＆セーフティーを推進しマナークレーム『ゼロ』を実現する。

（1）目　標
1）燃費の向上　対前年3%向上　6.8 km/ℓ
2）地域貢献活動への参加

（2）重点施策
1）省燃費活動の推進

【会社衛生】

管理者自らが率先して健康維持推進活動に取組み、従業員の健康意識を向上させ、
職場が一体となってさらなる健康企業を目指す

（1）目　標
1）有所見率　45%以下　（対前年　2.5%削減）
2）再検査・精密検査、要治療者率　26%以下　（対前年　2.5%削減）
3）産業医面談率の向上

（2）重点施策
1）身体活動活動活性化推進
2）禁煙活動推進支援